

令和元年度第1回いわて県民情報交流センター(アイーナ)指定管理者選定・評価委員会
〔 議事録 〕

日 時：令和元年7月24日(水) 13:30~15:00

場 所：いわて県民情報交流センター(アイーナ) 会議室602

出席者：

区分	所 属	職 名	氏 名
委員長	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	学部長	吉野英岐
副委員長	特定非営利活動法人クチェカ	理事長	橋場 覚
委員	一般財団法人 北海道東北地域経済総合研究所	専務理事	伊藤 賢治
	岩手弁護士会	弁護士	佐藤 あすか
	CAP岩手	運営委員長(代表)	高橋 寿美子
	一般社団法人 岩手県建築士会盛岡支部	副支部長	武田 裕次
	Coaching Office	代表	平野 順子
事務局	岩手県環境生活部 若者女性協働推進室	連携協働課長	工藤 祝子
		主任主査	加藤 肇
		主任主査	立花 紅
		主査	渊上 恭子
指定 管理者	統括グループ	統括責任者	越田 仁孝
		維持管理業務 総括責任者	高橋 ひとみ
	運営グループ	運営業務総括責任者	澤田 良久
		運営業務責任者	藤澤 剛彦
	維持管理グループ	維持管理業務責任者	菅野 清志
		維持管理業務副責任者	田中 直樹
	清掃グループ	清掃業務責任者	田中 義夫
警備グループ	警備業務責任者	大坪 隆行	

傍聴者:なし

1 開会 2 挨拶(工藤連携協働課長) 3 委員紹介に続き、吉野委員長の進行により審議を行った。

4 議事

(1) 報告事項ア 前回(平成29年度業務)評価への対応について

(事務局及び指定管理者から資料 No 1 により説明)

【質疑応答】

- 伊藤委員 コンプライアンスの取組について、チェックリストはどういう内容か。
- 指定管理者 例えば経理の点検表を作成し、設定した項目について適切にやっているかどうかを記載し、監査員に提出して確認してもらうようになっている。
- 平野委員 ヒューマンギャラリーの催事後アンケートはどういう意見が多かったか。
- 指定管理者 モニター会議では委員それぞれの立場から御意見をいただいております、委員によって情報の入手媒体が違うことがわかった。イベントの周知方法や定期的な開催によりイベントを育てることの重要性等の意見をいただいているところ。
- 橋場副委員長 ふるさとフェアについて、今年度は既に実施しているのか。
- 指定管理者 復興バザーは「三陸防災復興プロジェクト2019」とは何か連携があったのか。
- 指定管理者 今年度後半から進めていく予定。今年は2～3回になると思うが、その後の4年間も含めて33市町村分を実施する計画である。また、復興バザーについては、当該プロジェクトとの直接的な連携はなかった。
- 吉野委員長 コンプライアンスの取組について、具体的にどのようなことをしているのか、9月と1月は同じ人が受講しているのか。
- 指定管理者 9月は情報セキュリティ、1月はハラスメントについての内容であった。テーマは毎回変えている。昨年度からは各社で分担して実施している。在籍職員全員が必ず受講することとしており、大体は同じ人が受講している。
- 佐藤委員 欠席した場合は、後で当日の録画などを見るのか、再度研修を設定するのか。
- 指定管理者 各社の責任者が講師になって同資料・研修ビデオ等を引用し、研修内容を伝達する。

(2) 報告事項イ 県及び指定管理者による自己評価(平成30年度業務)の結果について

(事務局から資料 No 2 により説明)

【質疑応答】

- 武田委員 オイルダンパーは問題になったメーカー製だったと思うがどうなったのか。
- 事務局 データ改ざんを行ったKYB製の制振オイルダンパーがアイーナに入っているということを昨年10月に委員の皆様にお知らせしたのが最後となっていたところ。
- 現在は、当該ダンパー295基中に、性能を確認できないものが入っていることはわかっているものの、改ざんの詳細やそれを受けての対応への回答がまだ来ていない状況。ダンパーには、建物の下で揺れを吸収する免震ダンパーと建物の骨組みの中に入っていて揺れを小さくする制振ダンパーがあり、アイーナには後者が入っている。メーカーは件数の多い免震ダンパーへの対応を先に行っているようだ。
- 武田委員 仮にダンパーの交換となれば、壁を壊すような大きい工事になり、アイーナの運営にも関わるので、委員及び指定管理者には情報提供をお願いしたい。

- 事務局 我々は安全性を最も重視しており、昨年10月の国土交通省の通知によると、特に許容値からの乖離が大きい製品が設置された建築物の構造安全性を検証した結果、震度6強から7程度の地震に対して倒壊する恐れはないとの見解が得られているとのことであるため、サンプル的な調査の結果ではあるが、アイーナも建物の利用を中止せずに使っている。
- 武田委員 資料7Pの維持管理業務で工事立会增加して人のやりくりが厳しいとあるが、建物が老朽化すれば、今後も工事が増える一方なので、何らかの対応を考える時期にきているのではないか。難しい話ではあるが、意見として申し上げる。
- 吉野委員長 「建築・設備において不具合が発生し」とあるが、どういう不具合が多いのか。利用者に影響があるのか。利用者から不具合の報告を受けることもあるのか。
- 指定管理者 トイレの漏水等はできるだけ自前で対応している。照明器具は器具の製造停止等もあることから、新しいものと交換する際に使える器具は保存しておいて他の部分に転用する等の工夫をしている。1日に複数回フロアチェックはしているが、使用中で確認できない場合もあるため、利用者から報告いただくこともある。
- 伊藤委員 8Pのエネルギー使用量については、計画値より大幅に削減が進んでおり、クールビズ等の呼びかけを行っていると思うが、暑い寒いといった苦情はないのか。
- 指定管理者 朝、上階の共有部分が構造的に暑いため、換気等で対応している。部屋については使用人数と使用目的によって変わることから、個別に調節している。季節の変わり目は暑い寒いという意見が多い。
- 伊藤委員 今後も16%からさらに削減していくことになるのか。
- 指定管理者 手法としてはそろそろ限界にきている。照明をLEDに替える等に取り組んでいかないと厳しい。
- 吉野委員長 かなりの削減がされているが、温度が1度違うと全然違うものか。
- 指定管理者 使用していない部屋は電源を切っている。極端な温度変化をさせると使用料が増えるため、冬は朝早めに空調を入れて徐々に上げるようにしている。
- 高橋委員 工事立会について、工事発注の際に専門の方をお願いすることはできないのか。
- 事務局 毎年、修繕工事が増えており、平成30年度は県発注工事だけでも20件あった。公共工事だと工事の立会や進捗を管理する工事監理業務を業者に頼む場合もあるが、アイーナの場合は指定管理者に建物に精通した方がいるのと、夜間工事も多く、入居団体等との調整が発生するため、トータルで考えると最適であるとして指定管理者に工事監理的なこともお願いしてきたところ。しかし本来やっていただきたい業務に支障が出るのは困るため、県の体制も含めて何らかの対応を考えたい。
- 武田委員 通常の管理業務とは別に工事監理業務として委託して人員確保してもらおう等の対応も考える必要があるのではないか。
- 吉野委員長 毎月工事のような状況なのか。
- 事務局 年度前半は工事の設計等になるので、年度の後半に工事が集中することになり、負担が増えている。スケジュールも含めて相談していきたい。
- 橋場委員 指定管理者の評価を県の評価が上回っている項目があるが、本来は一緒の方が望ましい。要求水準をクリアすることが最低条件であり、それを超えた部分は高い評価になる。
- 設備管理や警備清掃は要求水準を維持して当然のため、評価が平準化されたと思うが、水準を毎日保つということが大変なことだと思う。担当はあるにせよ、自己

評価にあたってはグループとして連携が必要ではないか。

評価の方法については、それぞれで担当分野の評価を行ったあと、グループ全体で評価を確認するという流れで行っているのか。

指定管理者

そうである。

武田委員

収支状況で、事業費が平成 30 年度のみ減っているのは何故か。

事務局

確認のうえ、次回回答する。

平野委員

利用の際、椅子・テーブル等の劣化は気になっている。一気に交換のタイミングが来て、これまでと違う対応が必要になるのではないか。備品を交換する際の県と指定管理者の役割はどうなっているか。

指定管理者

椅子の劣化は特に激しい。全部で 800 脚以上あり、部屋別に管理している。

事務局

備品の購入は県である。更新が必要なものは県で予算を取って、その範囲内で対応していくことになることから、計画的に備品類の交換を進めていく。

高橋委員

ハラスメント研修に関連して、指定管理者の相談窓口はどうなっているのか。

指定管理者

各社ごとに窓口が設置されている。

(2) 協議事項

ア 評価の実施方法について

(事務局から資料 No 3 により説明)

平野委員

「事業計画、県が求める水準」の欄について、「企画・運営」や「広聴広報」で評価項目②と評価項目③に同じ内容が記載されている。どちらにも当てはまる部分があるのもわかるが、全部同じでは評価しづらいので、重視する部分を明示する等改善できないか。

吉野委員長

大項目のみで記載されている場合と、大項目の下に小項目が記載されている場合もある。大項目が同じ内容の場合、小項目を追加して、評価の観点の違いを明確にするように修正をすればよいのではないか。

事務局

そのように調書を修正したうえで、事前評価をお願いする。

武田委員

プロポーザルで指定管理者が提案してきた内容についてどれだけやったかを見る必要があるのではないか。すぐにやることと 5 年間でやることがあるだろう。

来年度は別の書式で構わないので、その部分の評価が必要ではないか。意見として申し上げる。

吉野委員長

視察には、どのような方が来ているのか。こちらからも視察に行くのか。

指定管理者

視察に来るのは議員が多い。指定管理と複合施設のモデルとして、あるいは施設運用の参考にするために見に来る場合もある。開館時はこちらが先行事例を見て回ったが、最近では連携の相談も兼ねながら、県内の同じような貸館施設に行っている。

5 その他

(特になし)

6 閉会